

# としょかんたより

【下條村立図書館 139号 2019年3月15日発行】

例年、受験や卒業式のころに大雪が降ることもあり、春を待つ季節が長く感じられたものでした。しかし今年の冬はあっという間に春にとってかわられ、花粉も一気に飛び始めました。うれしい春とともにやってくる花粉症は、4人に1人と言われる現代病です。更に多いのはガン…2人に1人とは本当でしょうか…?自然環境の異変と同じように、人間という生きものにも異変が起こっているのかも…しません。

## としょかん大好き家族 藤本さんご一家

PART 113

中原(井口屋)

図書館に毎週のように訪れ、親子3人分のカードをフルに使い、袋にいっぱいの絵本を借りていくのは、藤本さんご一家。つどいの広場がある火・木曜日は「すくすく」へ。水曜日や土・日曜日には図書館へと、お母さんのまどかさんと一緒にやってくるふたりの子どもたちは、元気に“すくすく”育っています。

図書館に来るようになったのは、長女の珠希(たまき)ちゃん(年中・5歳)が、2歳になった平成28年の春。まどかさんは、珠希ちゃんの絵本ノートを作り、借りた絵本のタイトルや日付を全て記入していました。珠希ちゃんが喜んだ本には、印がついています。さらに、借りた絵本をアイウエオ順に分けて再度記入し、タイトルを探しやすくするという独自の手法で、「My 絵本ノート」を楽しんでいたのです! 29年7月、図書館に読書手帳ができるからはこれを利用し、昨年11月には、親子そろって読書手帳チャンピオンに輝きました! 現在、手帳は3冊目を使っています。

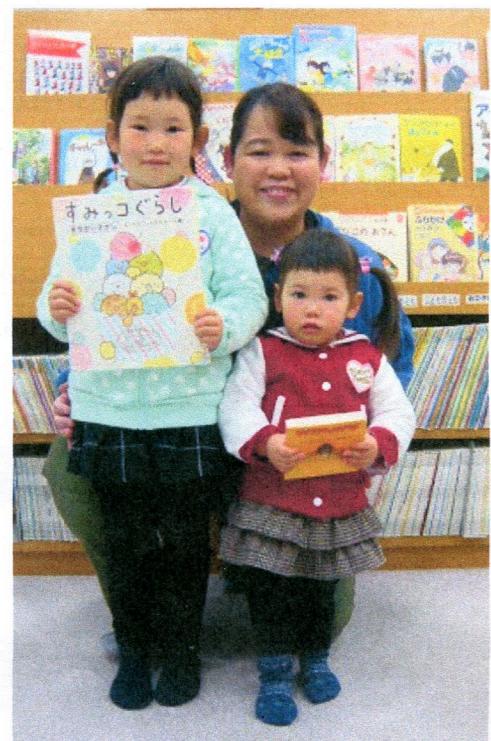
たくさん読んでもらった絵本のなかで、珠希ちゃんがいちばん気に入ったのは『おしゃれコーディネーター』(教育画劇)。「女の子が着る服や小物を自分で選んで、おしゃれしてお誕生会に行くお話で、読むたびに違う服や小物を自分で選べるのがうれしいみたい。もう何十回も読んでいて、買ったんですけど、それでも借りていくんです」そんな時も、子どもの気もちを尊重するのがまどかさん流です。

次女の歩果(あゆか)ちゃん(2歳)は、どこへ行っても好奇心いっぱい。大人も子どもも大好きで、積極的にアプローチしていきます! ぐずることはあっても、大好きな絵本があればすぐごきげんに。「0.1.2 えほん」(福音館)は、最初に全部読み終わり、『ぺんぎんたいそう』では、親子一緒に体操して盛り上がります。藤本家の絵本タイムは、寝る前のお楽しみの時間。読み手と聞き手が向かい合わせになり、「おはなしのろうそく」に灯をつけて始まります。このごろは、珠希ちゃんが絵本を読んでくれることもあります。

「中原にしばらく子どもがいなかつたせいか、地域の皆さんのが本当にかわいがってくださって、まるで家族みたいなんです。みんなに育ててもらっているから、私も子どもも安心で…ほんとにおかけです」と、母も子も笑顔の藤本さんご一家でした。

藤本家の読書手帳。上段左は手づくりの絵本ノート。

まどかさんのおすすめ絵本は『おいいれのぼうけん』親子で大好きです!



もくじ

- 1p 図書館大好き家族
- 2p おたのしみ会報告
- 3p 友の会ボランティア報告
- 4p 新刊ぴっくあっぷ



# 「昔ばなしの語りを聞くおはなしの会」



1月27日（日）あしたむらんど会議室にて、飯田市で昔話の語りを学ぶ会「おはなしのいす」を主催し、フリーANAウンサーとしてもご活躍の佐藤圭代さんをお招きし、「昔話の語りを聞くおはなしの会」を開催しました。小さい人の会、大きい人の会の2回を開催し、参加者約60人が昔話の語りやわらべうたなどを楽しみ、心躍る幸せな時間を過ごしました。

佐藤さんは大阪出身、元テレビ高知のアナウンサーで、現在いいだFM放送で毎週木曜日の番組「こどもといっしょ おさんぽ日和」のパーソナリティを務め、番組ではわらべうた、ロングセラー絵本、昔話をテーマにその素晴らしさを伝えています。

また、日本の昔話研究の第1人者である小澤俊夫先生（口承文芸学者・筑波大学名誉教授）の昔話大学や、東京子ども図書館のお話の講習で学ばれ、3人の子育てのなかで大切なことを、ご自身で深めてこられた方です。

「おはなしかよさん」として佐藤さんによる語りの会は、下條村では今年で2回目です。佐藤さんがお話を始めると、大騒ぎのちびっこたちも、思春期ど真ん中の高校生も、日々生活に追われる大人も、まるで魔法にかかったようにその世界に引き込まれます。聞き手のひとりひとりを大切に思う気持ちや、伝えるために選んだ言葉やしぐさには、佐藤さんの持つ「人への想い」があふれていて、いつのまにか会場全体を幸せな空間にしていくのです。これぞ、まさに語り手の持つ力「人間力」です。佐藤さんの持つ「さまざまなもの」が、お話とひとつになり聞き手の心のなかに入ってくる…そんな幸せな時間でした。

## 語られたおはなし会のプログラム

### 【小さい人のおはなし会】

1. 手遊び「はじまるよったら はじまるよ」
2. おはなし「とりのみじさ」（日本の昔話）
3. わらべうた「もちっこ やいて」
4. おはなし「おおかみと七ひきのこやぎ」  
(グリム童話)
5. わらべうた「さよなら あんころもち」

### 【大きい人のおはなし会】

1. 詩「むかしむかし」まどみちお
2. おはなし「兄をさがしにいった弟」  
(奥信濃の昔話)
3. おはなし「へやのおこり」（日本の昔話）
4. おはなし「金の腕」（イギリスの昔話）

\*今年5月26日（日）には、小澤俊夫先生による講演会が飯田市美術博物館にて開催されます。「柳田国男と昔話研究」「昔話と子どもの成長」等をわかりやすくお話ししてくれます。（小澤先生には、子ども読書年の2000.11.23下條大学にて講演いただきました）



おはなしのろうそくを吹き消したお誕生日の3人。 2

# としょかん応援団！ 友の会ボランティア報告

毎月の蔵書整理日（第4金曜日）10時～お昼まで、本の修理やクリーニングなどのボランティア作業をしてくださっているのが、図書館友の会のみなさんです！

平成27年度より始動し、活動は現在3年目となります。他にも下記のような活動があります。

- ◆ 27年度には、『小さな村の元気な図書館～図書館20周年記念誌＆下條村立図書館利用ガイドブック・活用のツボ』をいっしょに編集・刊行していただきました。
- ◆ ロビーの鉢植えやブックカフェのお花を定期的にご寄贈いただき、常に新鮮で明るい“あしたむらんど”を演出してくださっています。
- ◆ 図書館内の閲覧用いすの、座布団カバーをすべて付け替えていただきました。新しい座布団を10枚ご寄贈いただきました。
- ◆ 女子トイレのカーテンを新調（作りかえて）いただきました。
- ◆ 昨年11月17日の利用率県下1位イベントでは、終日さまざまにご協力いただきました。



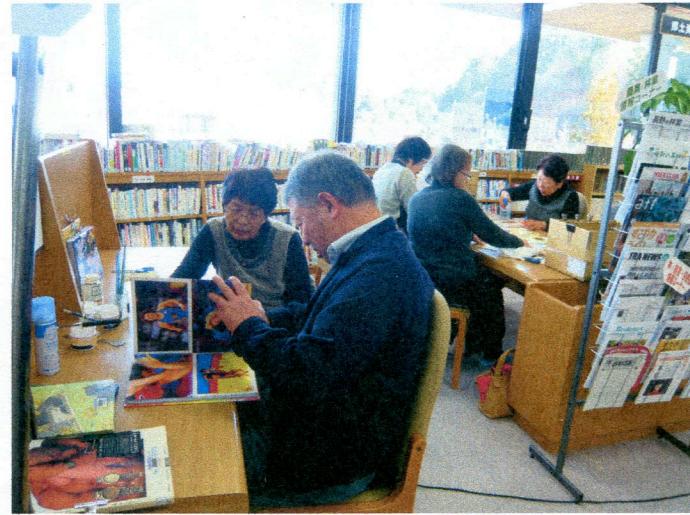
## 蔵書整理休館日の図書館職員の仕事

### ■ 蔵書整理作業

1ヶ月間利用されると、棚の本がかなり乱れて、あるべき場所にその本が見当たらないということが生じます。それを順番通り（日本十進分類法）に並んでいるかどうか確認し、所定の場所に戻します。

- 陽鳳郵便局、いきいきらんどの本入替え
- 小・中学校学級文庫の選書
- 古い本の書庫入れ
- 督促状発送と、その資料の確認
- 蛍光灯の交換・館内掃除など

開館中にはできることを行っています。



### 【図書館友の会のご紹介】

- ◆ 会員数10名。代表は牧嶋大さん（小松原）
- ◆ 毎月、定例日には5~6名の会員さんが集まり、図書館から修理本2箱（約50冊）と、本のクリーニング（表面の汚れを専用クリーナーでふき取る）2箱（約50冊）をお願いしています。
- ◆ 本の修理では、専用ののりを使い本格的に修理してくださるので、以後しばらくは図書館の本として使うことができます。

(^~^)いつも和気あいあい、楽しそうに作業をしてくださっています！



# 新刊 ぴっくあっぷ



「ひと」小野寺史宜著 祥伝社／母が急死し、たった1人になった20歳の柏木聖輔。空腹に負けで吸い寄せられた商店街の惣菜屋で、聖輔は買おうとしていた最後に残った50円のコロッケを見知らぬお婆さんに譲った。それが運命を変えるとも知らずに…。\*F才



「いつも心に樹木希林 ひとりの役者の咲きざま、死にざま」キネマ旬報社／女優・悠木千帆の誕生から樹木希林へ。病…そして映画のほうへ。2018年に亡くなった女優・樹木希林の一生を、本人のインタビューや対談、エッセイ等で辿る。関係者が樹木希林に寄せたメッセージも多数収録。\*78イ



「お金の流れで読む日本と世界の未来 世界的投資家は予見する」ジム・ロジャーズ著 PHP研究所／日本再興への道、朝鮮半島に訪れる劇的な未来…。世界的投資家は、日本と東アジア経済の未来をどう見るのか。「5年後アジアで1番幸せな国はどこか?」をテーマに、日中韓の将来を「お金の流れ」から鮮やかに読み解く。\*333口



「朝10分! 中高生のラクチン弁当320 作りおきしても朝作ってもOKのかんたんレシピ」食のスタジオ著 学研プラス／塾弁、部活弁などシーン別中高生に人気のお弁当をはじめ、冷めてもおいしい食材別メインおかず、色別サブおかずを紹介。タイムテーブルや保存の目安・調理時間・カロリー表示も掲載。\*596ア



「傲慢と善良」辻村深月著 朝日新聞出版／進学、就職、恋愛、友情、結婚…。あらゆる選択を決断してきたのは本当に「私自身」なのだろうか? 忽然と姿を消した婚約者の居場所を探すため、西澤架は、彼女の過去と向き合うことになるが…。\*Fツ



「時代を語る 林忠彦の仕事」林忠彦写真 光村推古書院／大正、昭和、平成と激動の日本を生き抜いた写真家・林忠彦。戦中のドキュメントから、戦後日本の歩み、人物写真、の成功がミレンと息子のクリストファーとに与えた影響風景写真まで、林忠彦の全仕事を紹介するとともに、林自身や大佛次郎、井上靖らのエッセイも収録。\*748ハ



「チコッと冒険First」CHICO著 徳間書店／プライベートのチコちゃんや、長瀬を旅するチコちゃんなど、NHKテレビ番組「チコちゃんに叱られる!」で人気のチコちゃんが満載のビジュアルファンブック。チコちゃんへの100の質問も収録。\*699チ



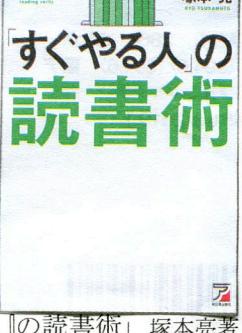
「達人が教える! 農家直伝おいしい野菜づくり 栽培・収穫・保存まで うまみを引き出すプロのコツ」永岡書店／初心者でもおいしい野菜をつくれるよう野菜ごとに、畝づくりや間引き、ベストな収穫タイミングなどをイラストを用いて解説。おいしく長持ちさせる保存方法や、野菜ソムリエおすすめの調理法も紹介。\*626タ



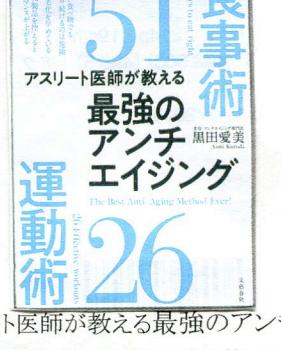
「ノースライト」横山秀夫著 新潮社／一級建築士の青瀬が設計した新築の家。しかし、Y邸に越してきたはずの家族の姿ではなく、一脚の「タウトの椅子」だけが浅間山を望むように残されていた。Y邸で何が起きたのか? 一家の行方は…。\*Fヨ



「グッバイ・クリストファー・ロビン『くまのプーさん』の知られざる真実」アン・スウェイト著 国書刊行会／アン・スウェイトによるA・A・ミルンの伝記から、「クマのプーさん」など4冊の子どもの本が書かれた背景と、その成功がミレンと息子のクリストファーとに与えた影響風景写真まで、林忠彦の全仕事を紹介するとともに、林自身や大佛次郎、井上靖らのエッセイも収録。\*933ス



「すぐやる人の読書術」塚本亮著 明日香出版社／すぐやる人は「読書」で成功に接近する! 行動が加速する読み方、知識を自分流にアレンジして採り入れる方法、効果的に多くの人に情報共有していく方法など、学んだ知識を行動に活かして、劇的に成果を上げる方法を紹介する。\*019ツ



「アスリート医師が教える最強のアンチエイジング食事術51運動術26」黒田愛美著 文藝春秋／紫外線は内臓を老化させる、過度な運動は不妊の原因になる、小麦・乳製品を控えるとパフォーマンスが上がる…。内側から美しさを引き出し、最強のアンチエイジングになる最新の運動術・食事術を紹介。\*498ク